

図書館だより



中央図書館では、読書週間に合わせて、フロアごとにテーマに沿った展示をします。

2階 児童書フロア

祝 よむレンジャーもうすぐ50号！

16年間に渡り、中高生向けに情報を発信し続けている『よむレンジャー』。過去に紹介した本の中から、よりすぐりの50タイトルを展示・貸出します。懐かしの創刊号も配布します！！

★展示期間

10月27日（木）から
11月20日（日）まで

3階 一般書フロア

お楽しみパック

ありがとう
「感謝」にちなんだ本を3冊セットにした、お楽しみパックを貸出します。思いもよらなかった本との「運命の出会い」があるかもしれません。
※お楽しみパックは数量限定です。

★展示期間

10月25日（火）から
11月20日（日）まで

読書週間はいつから始まったの？



終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

（公益社団法人 読書推進運動協議会 HP より抜粋）



図書を紹介します テーマ お金

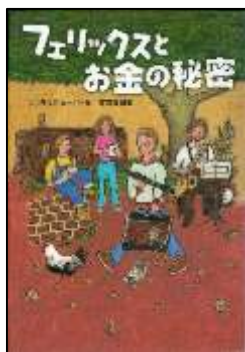
度重なる電気・ガス料金の値上げや物価の高騰、記録的な円安が続いています。いうまでもなく、お金は日々の生活には無くてはならない大切なものです。そして2024年、財務省は新しい日本銀行券を製造すると発表しています。

お金への関心が高まる中、3階ミニ特集コーナーでは、「お金」をテーマにした本を10月23日(日)まで展示します。今号では、その中から5冊をご紹介します。



「フェリックスとお金の秘密」

ニコラウス・ピーパー／作 天沼 春樹／訳 徳間書店 JFピ



「金持ちになってやる」。倅約家の両親と暮らす12歳のフェリックスは、これまで家の靴箱にためてきた自分のお金を「働かせる」ために、身近なことからお金と経済のしくみを学んでいきます。

とあるケースに隠された謎を解き明かしながら、様々なアイデアと行動力で進んでいくフェリックスのお金を巡る物語は、子どもから大人まで楽しめる一冊です。

「江戸の家計簿」 磯田 道史／監修 宝島社 210.5エ



江戸時代の武士、農民、町人の給料や、生活用品、食品などの価格から、江戸文化と台所事情を紹介しています。

そば1杯16文、約250円。享保の改革を実施し、最大の石高となった8代将軍の収入は、現在の価格に換算するといくらだったのでしょうか。その将軍を支える、時代劇でもおなじみの町奉行は、高級取りの反面、大変な激務だったようです。江戸の人々の生き生きとした暮らしぶりがわかる一冊です。

「レンタルフレンド」 青木 祐子／著 集英社 913.6ア

七実は、依頼者からお金をもらって、仲の良い友達として過ごす「レンタルフレンド」を仕事としています。

依頼者の事情に合わせて、時には披露宴で新婦の親友になったり、時には、年間契約の女性と映画を見てランチを楽しむ相手になったり……。訳ありの依頼者たちの心にそっと寄り添う、七実の言動は、お金が介在していることを意識させない「温かさ」を感じます。



「くらべる値段」 おかべ たかし/文 東京書籍 675.1 オ

— 安いものには努力があり、高いものには夢がある。 —
同じ品目なのに、値段が違うのは何故なのか。そこには、素材の違いやどれくらい手間が掛かっているのかなど、さまざまな理由があります。

安いものと高いものの値段の違いを写真と共に解説しています。ここで問題です。表紙の盆栽、値段の違いは何だと思えますか？その答えは……158 ページをご覧ください。



「僕が考える投資について」 松浦 弥太郎/著 祥伝社 159 マ

投資でいかにお金を増やすか、といったことが書かれている本ではありません。お金や時間の使い方、仕事や習慣、学びなどの“自分”への投資について、経験を交えて書かれています。

「投資とは、『先の未来について考え、行動すること』」と著者は言っています。

「自己管理は最大の投資」「娯楽に興じることは立派な投資」など、さまざまな話が出てきます。あなたもすでに“自分”への投資をしているかもしれません。



対談 生まれ育った土地と小説



来たる10月23日(日)に、小説家で狭山市出身の青木淳悟さんと、入間市出身の滝口悠生さんの講演会を行います。ともに西武線沿線で育ち、地域にゆかりのある小説を執筆されています。お二方の対談をきっかけに、両市の魅力を再発見してみませんか。申込は10月4日(火)から、先着順40名まで。詳細は公式ホームページをご覧ください。

滝
口
悠
生



青
木
淳
悟

たきぐち ゆうしょう
1982年東京都八丈島生まれ、埼玉県入間市で育つ。2011年、秋津を舞台にした「楽器」で第43回新潮新人賞を受賞。2016年、「死んでいない者」で第154回芥川龍之介賞を受賞。西武池袋線沿線を舞台にした作品を数々執筆している。

あおき じゅんご
1979年埼玉県狭山市生まれ。2003年「四十日と四十夜のメルヘン」で新潮新人賞を受賞。2012年『私のいない高校』で第25回三島由紀夫賞受賞。2015年の『学校の近くの家』では、入曽地区にある設定の小学校に通う5年生の目をとおして、1990年前後の狭山市の小学生の独特な世界を描いている。

リサイクルコーナーを設置します



期 間：11月11日（金）～11月29日（火）

場 所：中央図書館4階 くつろぎ読書室「オアシス」

持ち物：本を持ち帰るための袋

保存期間が過ぎた雑誌や不用となった本を無料配布します（なくなり次第終了）。
感染予防対策として密を防ぐため、資料は一度に全部配布せず、入れ替える形で提供
します。どんな資料がいつ並ぶかの日程や詳細は公表しません。

市民文化祭 中央図書館会場のイベント紹介



【ちびぞう+（プラス）】

日時：10月29日（土）14：30～14：50

場所：4階 視聴覚室

内容：3歳から小学校低学年くらいのお子さん
とその保護者を対象としたおはなし会

定員：8組程度

申込：10月21日（金）9時30分から

【ちびちびぞうクラブ】

日時：11月17日（木）10：30～10：45

場所：2階 おはなしの部屋

内容：3歳くらいまでのお子さんとその保護
者を対象としたおはなし会

定員：8組程度

申込：11月10日（木）9時30分から

【16ミリ友の会による こども映画会】

日時：11月19日（土）14：30～15：30

場所：4階 視聴覚室

内容：16ミリフィルムによる子供向け映画の上映会

作品：『3丁目物語 秋』『大造じいさんとがん』

定員：20名程度

申込：11月12日（土）9時30分から

備考：会場には絵本を展示します。手に取ってご覧ください。



【狭山市地域文庫連絡会による おはなし会】

日時：11月20日（日）①10：30～11：15 ②11：30～12：15

※2回とも同じ内容です

場所：4階 視聴覚室

内容：小学校低学年くらいまでのお子さんとその保護者を対象とした
狭山市地域文庫連絡会によるスペシャルおはなし会

定員：各回10組程度

申込：11月10日（木）9時30分から



狭山台図書館

11月27日（日）に さやまだいまつりが開催されます！



ビブリオバトルやおはなし会、謎解きゲームなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。
詳細は狭山台図書館HP等をご確認ください。ご来館をお待ちしています♪

狭山市立図書館

10月27日（木）～11月9日（水）は読書週間

中央図書館 TEL04-2954-4646 / 狭山台図書館 TEL04-2958-3801

狭山市立図書館HP <http://www.city.sayama.saitama.jp/>

【市政情報】⇒【市の施設】⇒【文化・労働施設】⇒【図書館】へ



狭山市立図書館HP
への二次元コード